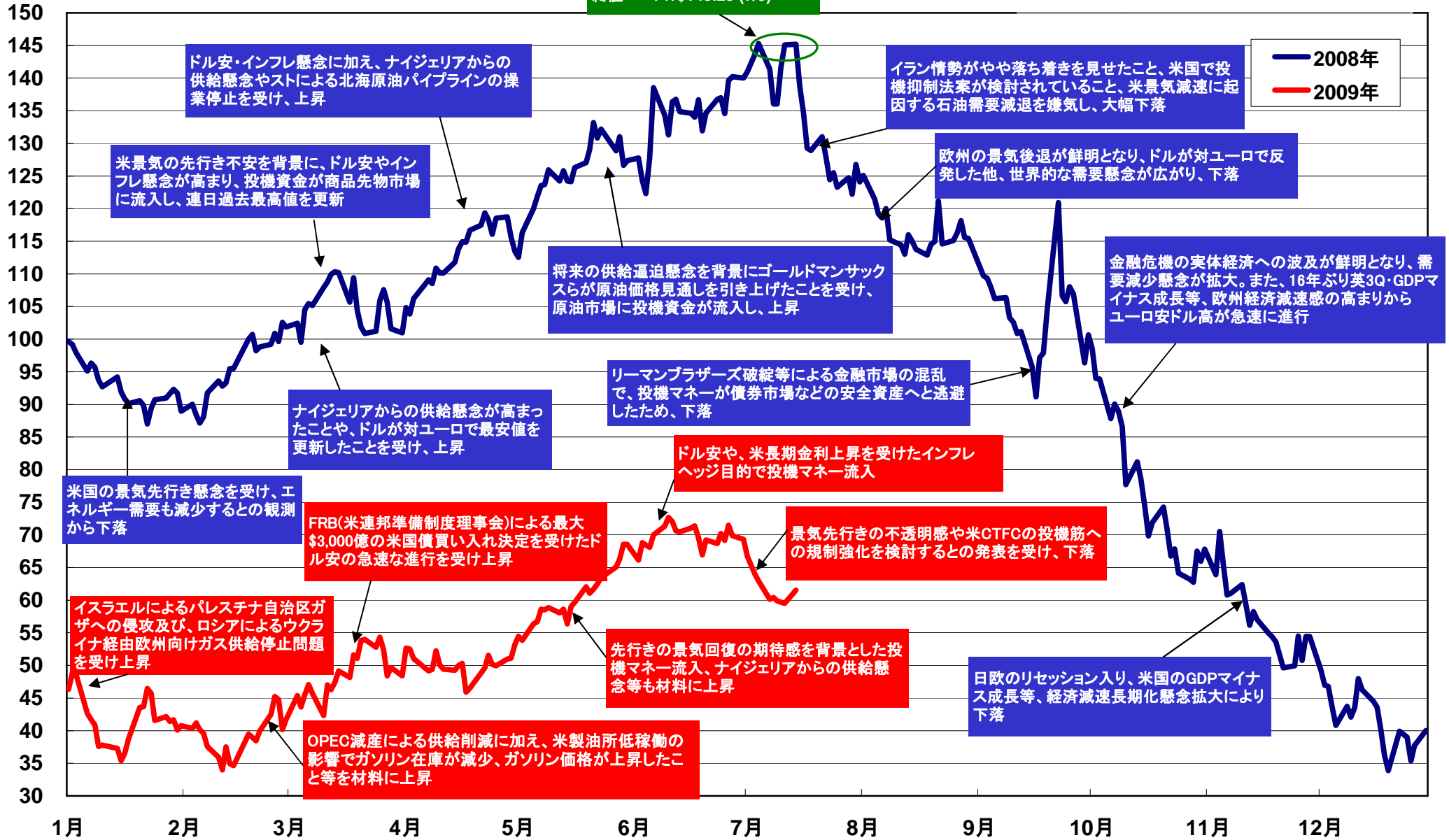


WTI原油価格推移(2008~2009)

価格(\$/BBL)

2008年最高値
瞬間ベース:\$147.27 (7/11)
終値ベース:\$145.29 (7/3)

<参考>	09年5月	09年6月
WTI(\$/B)	59.21	69.70
為替(円/\$)	97.28	97.57



ドル安・インフレ懸念に加え、ナイジェリアからの供給懸念やストによる北海原油パイプラインの操業停止を受け、上昇

米景気の先行き不安を背景に、ドル安やインフレ懸念が高まり、投機資金が商品先物市場に流入し、連日過去最高値を更新

将来の供給逼迫懸念を背景にゴールドマンサックスらが原油価格見通しを引き上げたことを受け、原油市場に投機資金が流入し、上昇

イラン情勢がやや落ち着きを見せたこと、米国で投機抑制法案が検討されていること、米景気減速に起因する石油需要減退を嫌気し、大幅下落

欧州の景気後退が鮮明となり、ドルが対ユーロで反発した他、世界的な需要懸念が広がり、下落

金融危機の実体経済への波及が鮮明となり、需要減少懸念が拡大。また、16年ぶり英3Q・GDPマイナス成長等、欧州経済減速感の高まりからユーロ安ドル高が急速に進行

リーマンブラザーズ破綻等による金融市場の混乱で、投機マネーが債券市場などの安全資産へと逃避したため、下落

ナイジェリアからの供給懸念が高まったことや、ドルが対ユーロで最安値を更新したことを受け、上昇

ドル安や、米長期金利上昇を受けたインフレヘッジ目的で投機マネー流入

米国の景気先行き懸念を受け、エネルギー需要も減少するとの観測から下落

FRB(米連邦準備制度理事会)による最大\$3,000億の米国債買い入れ決定を受けたドル安の急速な進行を受け上昇

景気先行きの不透明感や米CTFCの投機筋への規制強化を検討するとの発表を受け、下落

イスラエルによるパレスチナ自治区ガザへの侵攻及び、ロシアによるウクライナ経由欧州向けガス供給停止問題を受け上昇

先行きの景気回復の期待感を背景とした投機マネー流入、ナイジェリアからの供給懸念等も材料に上昇

OPEC減産による供給削減に加え、米製油所低稼働の影響でガソリン在庫が減少、ガソリン価格が上昇したこと等を材料に上昇

日欧のリセッション入り、米国のGDPマイナス成長等、経済減速長期化懸念拡大により下落